

環境活動レポート 2016

(運用期間：2016年8月～2017年7月)



2017年10月5日 作成

SWEEPING SERVICE
株式会社 スイーピングサービス

目 次

1. 会社の概要
2. 事業内容
3. 環境方針
4. 環境目標
5. 2017年度環境活動計画
6. 環境活動計画の取組結果とその評価
7. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直しの結果
9. 施設等の状況
 - (1) 収集運搬車両の状況
 - (2) 積替え保管施設の面積と保管上限量
 - (3) 処理施設の種類等
 - (4) 処理工程図
 - (5) 処理実績(受託した産業廃棄物の処理量)
10. 地域貢献活動の今

1. 会社の概要

【会社名】 株式会社スイーピングサービス

【代表者】 代表取締役 田邊 昌志

【設立】 1973年(昭和48年)7月20日

【資本金】 3,000万円

【売上高】 618,445千円(2016年7月期)

【従業員数】 40名

【事業所、敷地面積】

- (a) 本社 東京都あきる野市瀬戸岡360番地1
298㎡ TEL. 042-597-6112
- (b) 日の出事業所 東京都西多摩郡日の出町平井15番地10
801㎡ TEL. 042-597-6111
- (c) 立川支店 東京都立川市曙町2丁目2番22号プラウドタワー立川1701号
55㎡ TEL. 042-527-2066
- (d) 南多摩支店 東京都稲城市東長沼1735番地7エクセル稲城104号
17㎡ TEL. 042-370-0068
- (e) 武蔵野支店 東京都西東京市芝久保町3丁目15番24号メゾン芝久保103号
13㎡ TEL. 042-452-0232
- (f) 汚泥処理施設 東京都西多摩郡日の出町平井26番地1
3,842㎡ TEL. 042-597-6112

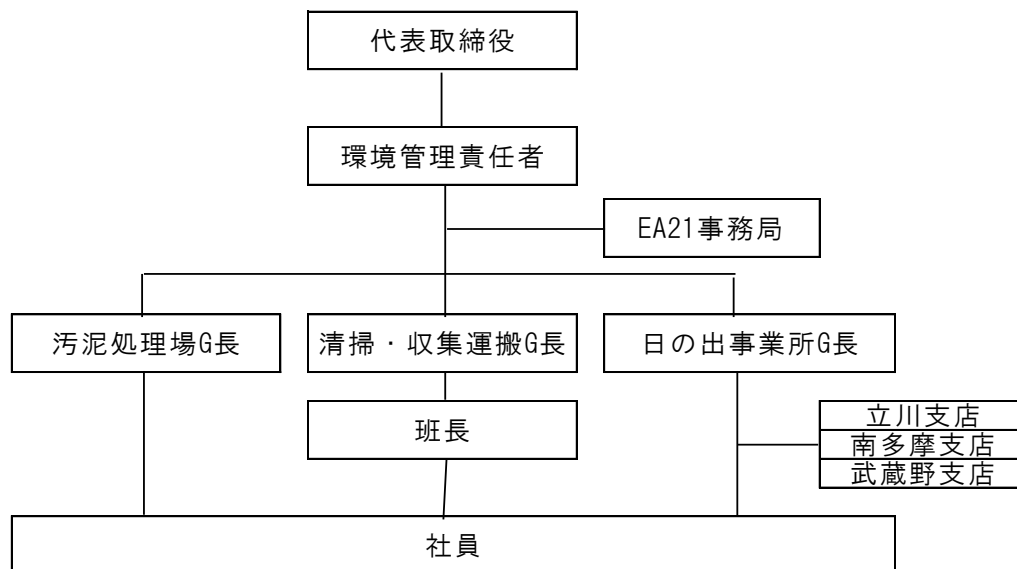
【エコアクション21対象事業所】

全社

【環境管理責任者及び事務局】

環境管理責任者 取締役 小林 秀次
事務局 田平 大悟 湯本 万倫子
TEL. 042-597-6111 FAX. 042-597-6115

【組織図】



2. 事業内容

- 【事業内容】 (1) 廃棄物処分業務（汚泥処理）
 産業廃棄物の収集・運搬（積替え保管含む）、中間処理
 一般廃棄物の収集・運搬
- (2) 清掃・維持管理業務
 道路公園、建物、路面、貯水槽、浄化槽、管渠、厨房、
 グリストラップ、清掃下水道管漏水・TVカメラ調査、
 処理施設の保守管理

【優良性基準適合認定】

認定の区分	産廃エキスパート	
業の区分	収集運搬業（積替え保管含む）	中間処理業
認定番号	2-15-B0085	2-15-C0080
有効期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	

【許可の内容】

<産業廃棄物収集運搬業>					許可品目											
No	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日	有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	リット・陶磁器くず	ガラス・コンクリート	鉢さい	がれき類
1	東京都	13-10-005352	平成26年2月1日	平成31年1月31日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	神奈川県	01400005352	平成29年8月30日	平成34年8月21日		●	●	●	●	●	●	●	●			●
3	埼玉県	01101005352	平成26年10月27日	平成31年8月27日	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●
4	千葉県	01200005352	平成24年11月21日	平成29年11月20日		●	●	●	●	●	●	●	●			●
5	山梨県	01900005352	平成25年10月23日	平成30年10月22日		●		●	●	●	●	●	●			●
<産業廃棄物処分業>																
6	東京都	13-20-005352	平成28年7月23日	平成33年7月22日		●										
<一般廃棄物収集運搬業>					許可品目											
7	福生市	指令福生環発第5号-14	平成28年4月1日	平成30年3月31日	事業系一般廃棄物											
8	瑞穂町	瑞住生許可第12-3号	平成28年9月20日	平成30年9月19日	缶・ビン・紙くず・木くず											
9	青梅市	許可収・運第68号	平成28年10月1日	平成30年9月30日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）											
10	檜原村	28許可第1号	平成28年4月1日	平成30年3月31日	道路の清掃により発生する廃棄物											
11	羽村市	許可一廃収第31号	平成28年9月26日	平成30年9月25日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）											
12	日の出町	27日生第12679号	平成28年4月1日	平成30年3月31日	浄化槽汚泥											
13	あきる野市	あ環生収第292号	平成28年4月1日	平成30年3月31日	浄化槽汚泥、道路・公園及び河川の清掃により発生する廃棄物											
14	奥多摩町	第3号	平成28年10月29日	平成30年10月28日	事業系一般廃棄物（紙くず・木くず）											
<建築物飲料貯水槽清掃業登録証明書>					備考											
15	東京都	9貯第1429号	平成24年4月10日	平成30年4月9日												
<建設業許可>					業の区分											
16	東京都	東京都知事許可（般-28）第115850号	平成28年8月15日	平成33年8月14日	土木工事業、とび・土木工事業、管工事業、造園工事業、水道施設工事業、解体工事業											
<浄化槽保守点検業者登録通知書>					備考											
17	東京都	浄保（8）第230号	平成25年2月25日	平成30年2月24日												
18	八王子市	八浄保第19-9号	平成25年2月25日	平成30年2月24日												
<浄化槽清掃業許可証>					備考											
19	あきる野市	あ環環収第291号	平成28年4月1日	平成30年3月31日												
20	日の出町	27日生第12675号	平成29年4月1日	平成30年3月31日												

3. 環境方針

環 境 方 針

＜基本理念＞

株式会社スリーピングサービスは、産業廃棄物収集運搬・中間処理業を通じて地域社会に快適な生活環境を創造し、汚泥処理の分野で「環境に貢献する企業」を目指します。

＜行動指針＞

1. 環境負荷の継続的改善
エコアクション21を積極的に運用し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 法令遵守
当社業務に適用される環境関連法規等を遵守します。
3. 環境活動への取組み
当社の事業特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取組みます。
 - (1) 環境負荷の削減
省エネルギー・省資源
 - (2) 環境取組の推進・向上
グリーン購入の推進
環境美化の推進
リサイクルの推進
4. 実施態勢の確立と環境教育
エコアクション21の機能を効果的・効率的に推進していくために、社内の実施態勢を確立し全社員への環境教育に努めます。
5. 環境目標の設定
この環境方針を達成するために、環境目標を設定し、定期的に見直し環境改善に努めます。

制定 2014年1月1日

株式会社スリーピングサービス

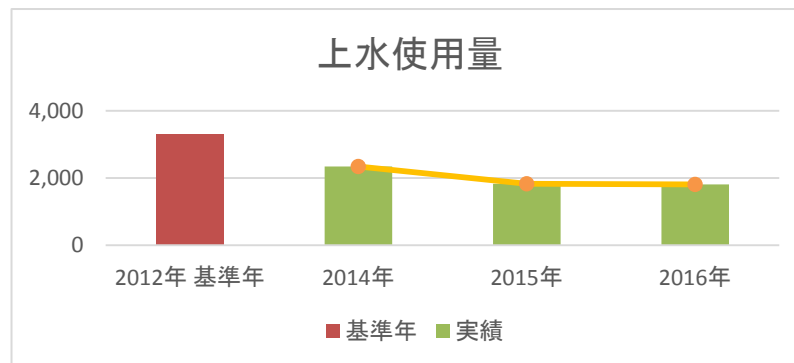
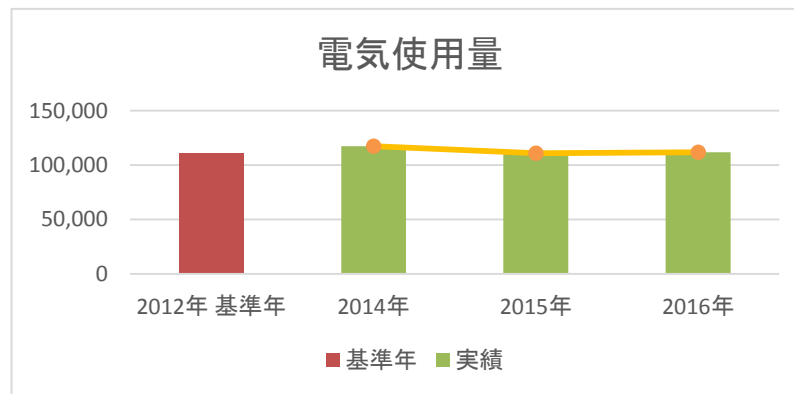
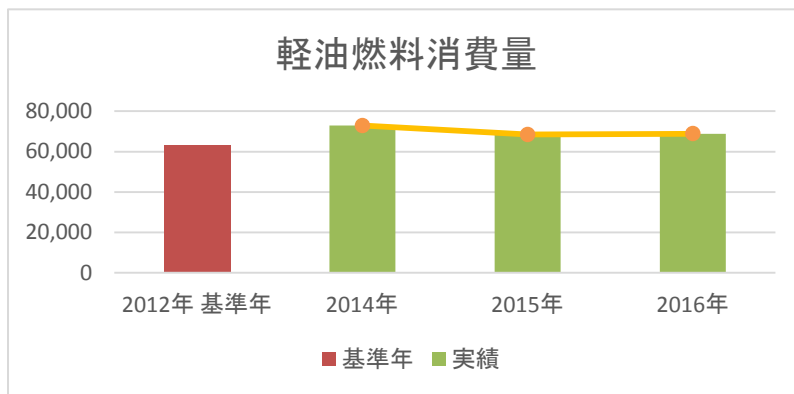
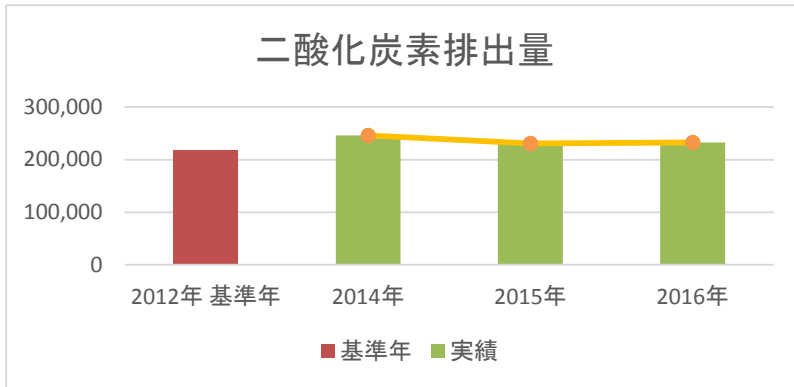
代表取締役 田邊 昌志

4. 環境目標

施策	項目	区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度			2017年度 目標	中期目標 (2017年度作成)				
				実績	実績	実績	目標	実績	評価		2017年度	2018年度	2019年度		
1. 環境負荷の削減	1.1 省エネルギー・省資源	二酸化炭素排出量削減(*)		kg-CO2	218,604	245,941	231,024	228,715	232,600	-	230,274	230,274	新施設の使用料を把握してから設定する		
						2016年度目標比			100.0	101.7%	×	-	-	-	
		軽油燃料消費量削減	清掃・収集運搬G	e	63,253	72,974	68,432	67,748	68,842	-	68,154	68,154	67,472	66,797	
						2016年度目標比			100.0	101.6%	×	-	-	-	
		汚泥処理場G		KWh	-	-	71,329	70,616	71,249	-	70,537	70,537	新施設の使用料を把握してから設定する		
						2016年度目標比			100.0	100.9%	×	-	-	-	
		電力使用量削減	日の出事業所G	KWh	-	-	39,522	39,127	40,681	-	40,274	40,274	39,871	39,472	
						2016年度目標比			100.0	104.0%	×	-	-	-	
		計			KWh	113,377	117,312	110,861	109,743	111,930	-	110,811	110,811	新施設の使用料を把握してから設定する	
						2016年度目標比			100.0	102.0%	×	-	-	-	
		汚泥処理場G (2015年度まで日の出事業所G含む)		m ³	2,027	2,348	1,832	1,334	1,384	-	1,370	1,370	新施設の使用料を把握してから設定する		
						2016年度目標比			100.0	103.7%	×	-	-	-	
上水使用量削減	日の出事業所G	m ³	-	-	-	480	430	-	426	426	422	418			
				2016年度目標比			100.0	89.6%	○	-	-	-			
計			m ³	-	-	-	1,814	1,814	-	1,796	1,796	新施設の使用料を把握してから設定する			
				2016年度目標比			100.0	100.0%	○	-	-	-			
1.2 自社廃棄物排出量	一般廃棄物削減	全社	kg	617	605	1,003	599	601	-	595	595	589	583		
				2016年度目標比			100.0	100.3%	×	-	-	-			
2. 環境取組の推進・向上	2.1 グリーン購入の推進	グリーン購入率の向上(金額)	全社	%	18.0	38.3	24.7	25.0	30.1	-	購入の定着				
					2016年度目標比			100.0	120.4%	○					
	2.2 受託した産業廃棄物の環境配慮	3Rの推進	汚泥処理場G	-	選別向上策の立案	処理方法決定	基本設計決定	処理設備の実施設計及び設置	処理設備の実施設計及び設置	○	処理設備の稼働				
	2.3 環境美化の推進	生活環境影響評価(騒音・臭気)	汚泥処理場G	-	2013.6から実施	毎月実施	毎月実施	測定実施と規制値内の確認	毎月実施	○	毎月実施				
		地域貢献活動	全社	-	実施	年11回実施	年12回実施	地域清掃の実施	年12回実施	○	毎月実施				
2.4 全従業員の参加	教育・説明会	全社	-	実施	2014.10活動計画の説明	2016.4活動計画の中間報告	自らの役割と責任の自覚	2017.4活動計画の中間報告開催	○	教育・説明会開催					

(*)：二酸化炭素の排出係数は、東京電力の2011年度排出係数0.464kg-CO₂/kWhを使用した。

環境負荷の実績



5. 2017年度 環境活動計画

<環境活動方針>

- 社員ひとり一人が参画意識を持ち、活動計画を実行し、環境活動に積極的に取り組むこと。
今年度は中間報告や活動報告を増やし個々の意識を向上させ、環境への取り組みの更なる活性化を期待する。
- 活動にあたっては「PDCAサイクル」を回すこと。

【P:計画の策定】				【D:計画の実施】	
活動項目	目的	目標値	担当部門	実施方法 (詳細は個別活動計画参照)	
1. 環境負荷の削減	1.1省エネルギー・省資源	軽油燃料消費量削減	68,154L 前年実績比1%削減	清掃・収集運搬G	1)エコドライブ推進、エコ講習参加 2)暖気運転の短縮・中止 3)新指標「燃費」管理の試行(特定車両を対象)
		電力使用量削減	40,274KWh 前年実績比1%削減	日の出事業所G	1)事務室・食堂の空調温度の管理 2)室内の照明→昼休み消灯、倉庫は使用時のみ 3)1F受付の自然光利用
			70,537KWh 前年実績比1%削減	汚泥処理場G	1)設備の作業前試運転時間の標準化 2)管理事務室の空調温度の設定 3)管理事務室消灯チェック確認表への記入
		上水使用量削減	426m ³ 前年実績比1%削減	日の出事業所G	1)節水コマ、節水パッドの点検 2)手洗い時に節水を心掛ける。
	1,370m ³ 前年実績比1%削減		汚泥処理場G	1)再生水汲み上げポンプの定期点検 2)洗車時間を守る 3)節水コマ、節水パッドの点検	
	1.2 自社廃棄物排出量	一般廃棄物削減	595kg 前年実績比1%削減	全社	1)再生紙コピー紙の裏紙利用推進
産業廃棄物削減		リサイクル促進	全社	1)発生時リサイクルの徹底	
2. 環境取組の推進・向上	2.1グリーン購入の推進	グリーン購入比率の向上 (金額ベース)	購入の定着	全社	1)新規購入時のエコ商品検索
	2.2受託した産業廃棄物の環境配慮	3Rの推進 (持出量の削減)	処理設備の設置と稼働	全社	1)関係先との協議、届出等
	2.3環境美化の推進	生活環境影響評価 (規制値内の確認)	騒音、臭気測定の実施	汚泥処理場G	1)騒音測定(月1回)、臭気測定(月2回)の実施
		地域貢献活動	地域清掃の実施	全社	1)地域清掃の実施(毎月)
	2.4 全従業員の参加	自らの役割及び責任の自覚	教育・説明会の開催	全社	1)環境活動方針の周知

【PDCAサイクル】

P:計画の策定 (Plan)

活動方針を踏まえ、活動項目、目的、担当部門、実施方法、その時期を決めること(責任者)
活動計画を全社員に周知する(環境管理責任者)

D:計画の実施 (Do)

実施方法=個別活動計画・進捗管理表の「具体的施策」を実行すること(社員全員)

C:取組状況の確認及び評価 (Check)

毎月初に前月の進捗状況と目標達成状況を評価し、月次営業会議で報告する(責任者)
3ヶ月毎に進捗状況と目標達成状況を評価し、月次営業会議で報告する(環境管理責任者)

A:全体の評価と見直し (Action)

前月及び今後の取組み状況が未達の場合、「具体的施策」を見直す(責任者、環境管理責任者)

6. 環境活動計画の取組結果とその評価と2017年度の取り組み

(1) 軽油燃料消費量の削減

- ・前年度比1%削減に取り組んできましたが、目標値を上回りました。(101.6%)
削減出来なかった要因は2016年8月の1ヵ月間、例年のない仕事(大型車2台による運搬作業)による影響で前年同月比179.6%となりました。この8月を例年通りの仕事量だとすると年間で64,445L、95.1%になり目標値を下回っていました。
- ・エコドライブ講習の受講割合は累計で59.2%となり、今後も継続的に計画し、全員の受講を目指します。
- ・業務の変動を受けにくい車両を特定し、燃費を新指標とした管理を試行しました。目標値は過去二年間の平均値4.5km/Lとして実績は4.03km/Lで平均燃費が10.4%下がりました。
- ・2017年度もエコドライブを継続し、目標の達成に努めます。

(2) 電力使用量の削減

- ・日の出事業所G(104.0%)と汚泥処理場G(100.9%)の両Gとも目標値を上回りました。これは猛暑の影響と新施設建設に伴う打ち合わせ等が多くなりエアコン、照明の使用が増えた為です。汚泥処理場Gでは繁忙期に帰社時間が遅くなり照明の点灯時間が増えました。
- ・汚泥処理場の電力使用量の見える化(ディスプレイを設置:電力情報をリアルタイムに確認することができ、想定外の使用電力を未然に防ぎ、電力の無駄を削減)を図りました。
- ・2017年度は新施設の工事が終わり、稼働するので使用量は増える見込みですが、活動計画を継続し、削減に取り組めます。

(3) 二酸化炭素排出量の削減

- ・軽油燃料、電力ともに目標値を上回ったため、二酸化炭素排出量は目標値を上回りました。(101.7%)

(4) 上水使用量の削減

- ・日の出事業所G(89.6%)は目標値を下回り、汚泥処理場G(103.7%)は上回りましたが、両事業所を合わせた目標値は達成出来ました(100.0%)。
- ・汚泥処理場Gでは、作業車に入れる水を再生水から上水に変更したことにより上水使用量が増えました。
- ・2017年度は新施設の稼働により使用量が増える見込みですが、節水に取り組み目標達成に努めます。

(5) 一般廃棄物の削減

- ・当活動項目は目標値を若干上回りました。(100.3%)。
- ・裏紙利用の推進を図りましたが仕事量が増加し、効果が薄まってしまいました。
- ・2017年度も同様に削減に取り組み、目標達成に努めます。

(6) 産業廃棄物の削減

- ・ 自社産業廃棄物は発生していません。
- ・ 今後発生の際は、リサイクルの促進に取り組みます。

(7) グリーン購入率の向上（金額ベース）

- ・ 目標購入率25%に対し30.1%と目標値を上回りました。
- ・ 印刷物を単価の安い業者へ変更したことが要因です。また、社員の意識の向上によって物品等を大切にしている結果でもあります。
- ・ 2017年度も同様に取り組みます

(8) 3Rの推進

- ・ 「持出量の削減（処理委託量の削減）」をテーマとし、有機系汚泥残渣物の自社処理に向けた実施設計を終えました。
- ・ 2017年度は新設備の設置から稼働を目指します。

(9) 環境アセスの実施

- ・ 自社による「騒音」・「臭気」測定（月1回）を汚泥処理施設で行い、基準値を超える値は測定されませんでした。
- ・ 東京都環境確保条例の規制基準を遵守していることの確認を目的とします。
- ・ 2017年度は臭気測定の回数を増やし、月2回実施します。

(10) 地域貢献活動

- ・ 対象エリアを3区域に分けて毎月清掃を行い、地域の住民から好評を得ています。
- ・ 2017年度も同様に取り組みます。

(11) 教育・説明会

- ・ 2017年4月に、昨年8月以降8か月間の活動実績を中間報告として行いました。残り4ヶ月間、環境活動に積極的に取り組むよう促しました。
- ・ 2017年度は3ヶ月に一度、中間報告を行い同様に取り組みます。

(12) カーボンオフセットへの取り組み

- ・ 2011年度以降、事業活動に伴うCO₂排出量の一部をカーボンオフセットしています。
- ・ バウンダリ（対象範囲）は、廃棄物処理工場の稼働、清掃維持管理、事務所、営業車両で使用したエネルギーから発生するCO₂排出量とし、国内クレジットを行っています。
- ・ 2016年度はCO₂排出量は313,384kg-CO₂、CO₂償却量は314,000kg-CO₂でした。
- ・ 2017年度も同様に取り組みます。

7. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

- ・「環境法令等遵守チェックリスト」にもとづきチェックを行った結果、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・2016年度は上水使用量、グリーン購入率を除き目標値を上回りました。
- ・要因は仕事量増加によるもの、新施設建設に伴うものが影響していると思われます。
目標を達成出来なかった部分があるが、PDCAサイクルを回していく中で、個々の意識が向上して来ていると実感します。
- ・上水使用量削減は2014年度、2015年度、2016年度、共に達成しました。
- ・軽油燃料消費量の削減は、かねてから懸案となっていた業務量の増減の影響を受けにくい指標として、「燃費」による管理を2016年度から一部車両に限定して行いました。
目標値は平均燃費4.5km/Lとして実績は4.03km/Lで平均燃費が10.4%下がりました。
- ・2017年度は新施設の建設が終り、稼働することにより汚泥処理場Gの電力、上水の使用量が増える見込みですが、活動計画を実行し目標達成の為に削減に取り組んで下さい。
- ・また、新施設は3Rを通じた資源循環による循環型社会を形成するものです。
これにより、一層の環境負荷の低減することを期待します。

9. 施設等の状況

(1) 収集運搬車両の状況

車両の種類	積載量	台数	環境保全対策等	排ガス規制適合車	E C Oドライブ
吸引車	3t	2	密閉式タンク車	○	○
	4t	2			
	5t	1			
	8t	1			
	10t	3			
ダンプ車	2t	2	シート掛け等	○	○
	4t	1			
	7t	1			
	10t	1			
トラック	2t	1			
アームロール車	4t	1	—		

(2) 積替え保管施設の面積と保管上限量

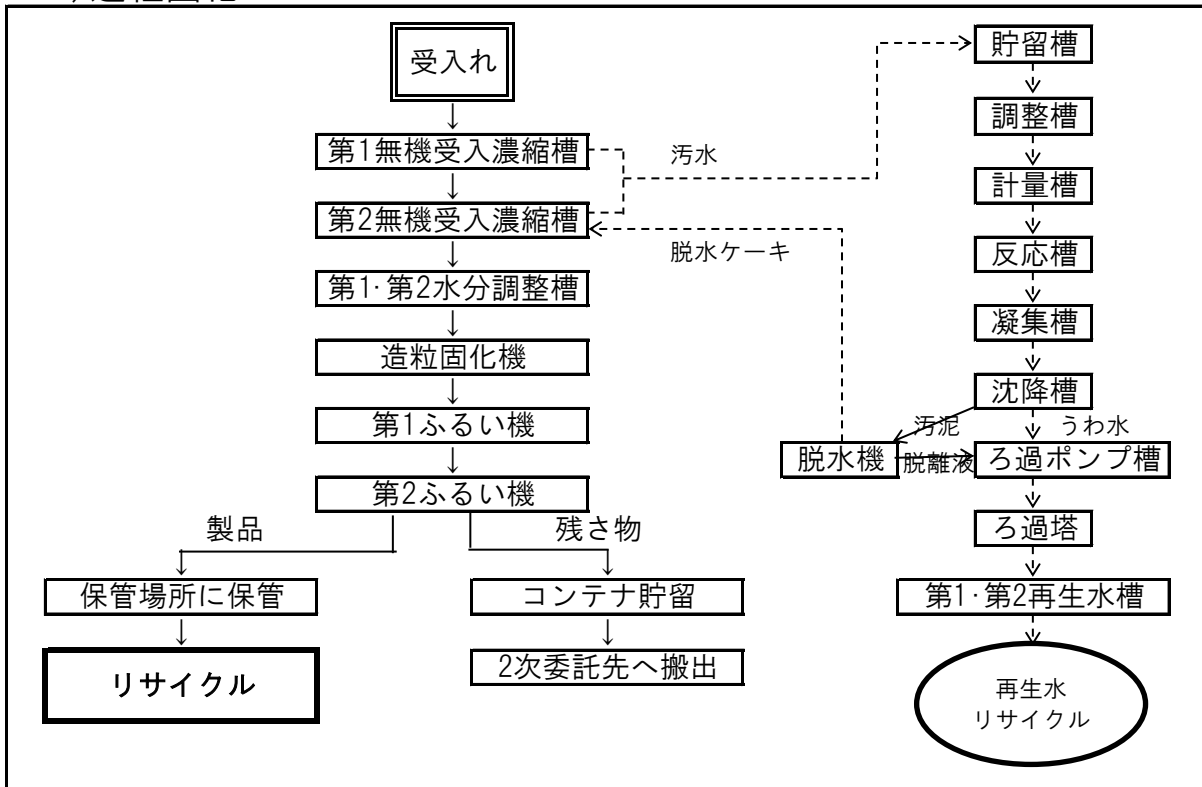
積替え保管施設の面積	保管上限量		
	3, 842. 21㎡	廃プラスチック類	8㎡コンテナ1個
紙くず		同上	8㎡
木くず		同上	8㎡
繊維くず		同上	8㎡
金属くず		同上	8㎡
ガラス・コンクリート・陶磁器くず		同上	8㎡

(3) 処理施設の種類の等

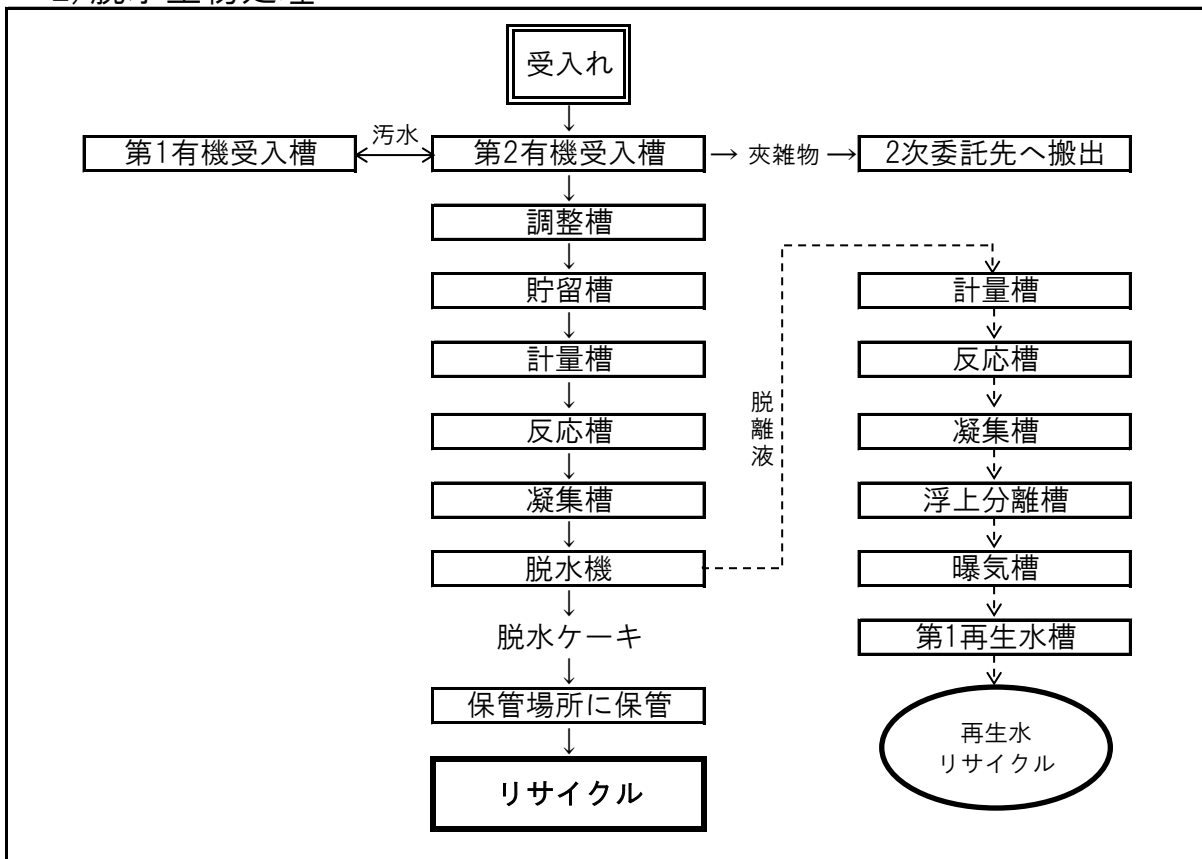
施設種類	産業廃棄物の種類	処理能力
造粒固化	汚泥（管渠清掃、道路・公園等の清掃に係るものに限る）	240㎡/日
脱水生物処理	汚泥（有機性のものに限る）	8㎡/日
回転乾燥	汚泥（自社処理後のものに限る）	7. 2㎡/日

(4) 処理工程図

1) 造粒固化



2) 脱水生物処理



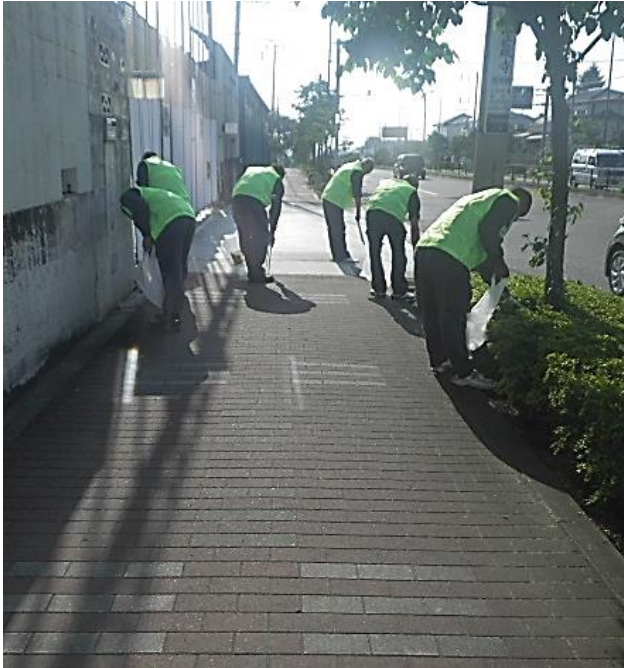
(5) 処理実績/受託した産業廃棄物の処理量

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量t (8月～7月)			
				2014年 H26年	2015年 H27年	2016年 H28年	
産業 廃棄物	(i) 収集運搬	し尿合計		904	600		
		(i) 収集運搬	廃プラスチック類		9	9	8
	紙くず		7		21	14	
	木くず		1		0	4	
	繊維くず		1		0	0	
	金属くず		4		4	0	
	ガラス他		4		89	191	
	廃油		122		90	125	
	汚泥		9,305		9,065	8,756	
	合計			9,453	9,278	9,098	
	(ii) 中間処理	汚泥		9,279	10,831	11,101	
		内、 再資源化等	汚泥	5,919	6,216	6,928	
	合計			9,279	10,831	11,101	
	(iii) 最終処分	-		0	9	36	
		合計			0	9	36
	(iv) 中間処理後の 産業廃棄物	最終処分	汚泥	安定型最終処分 (委託)	350	477	494
			汚泥	管理型最終処分 (委託)	0	9	36
			小計		350	486	530
		再資源化等	汚泥	リサイクル 製品化	3,736	4,516	4,919
			汚泥(肥料用)	再資源化 (委託)	101	100	103
汚泥(コンクリート 固化用)			815		1,113	1,151	
廃プラスチック類			43		31	35	
木くず			286		228	175	
ガラス・がれき類		585	717		816		
小計			5,566	6,705	7,199		
合計			5,916	7,191	7,729		

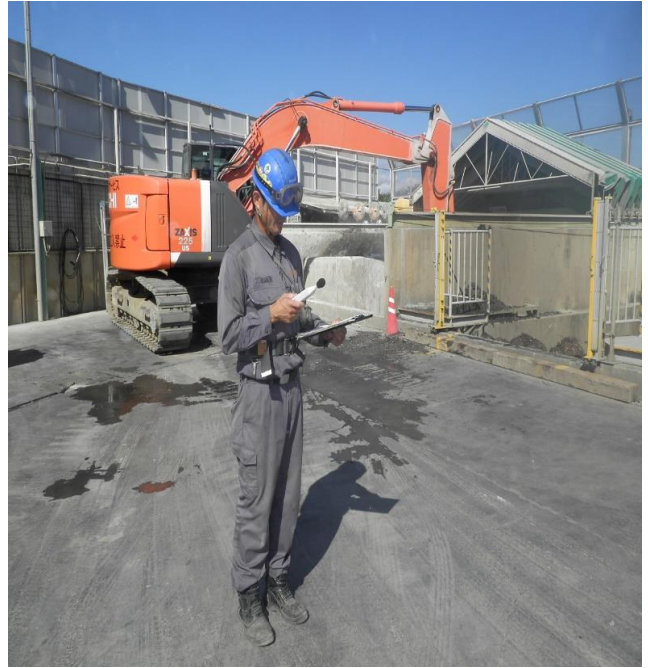
10. 環境活動の今

- (a) 毎月行っている近隣の清掃活動の様子です。
- (b) 処理場での騒音測定を行っています。

(a)

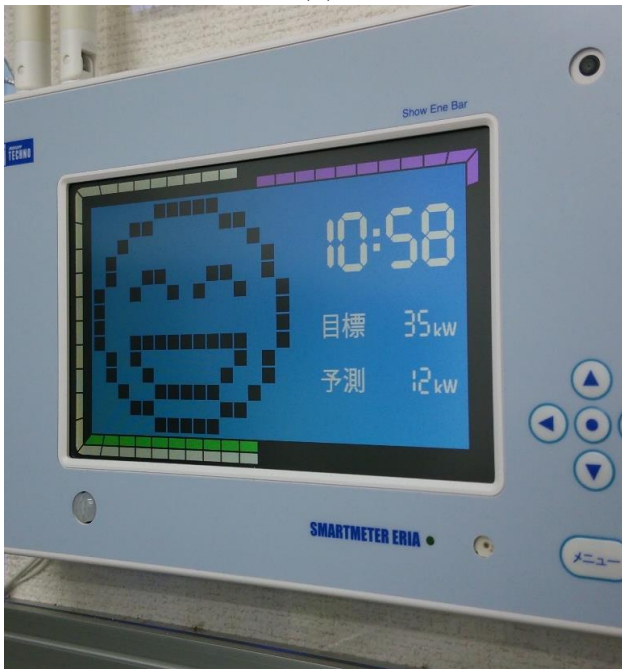


(b)



- (c) 処理場の電力使用量が確認できるディスプレイを設置しています。
- (d) エコドライブ10のすすめを掲示し取り組みを呼び掛けています。

(c)



(d)



[ホームページ]

詳細な事業活動に関する内容は、下記のホームページに記載しています。

URL : <http://www.sweeping.co.jp>

[連絡窓口]

当社の環境活動や本レポートへのご意見、ご質問等がございましたら、下記のエコアクション21事務局までご連絡ください。

エコアクション21事務局
メールアドレス : eco21@sweeping.co.jp
電話 : 042-597-6111 FAX. 042-597-6115